

せんきよ体験授業

@高校向け

令和4年(2022年)〇月〇日 実施

1

せんきよ体験授業の目的

- ① 投票参加の意義や選挙の仕組みを理解をし、選挙や政治に関心を持つてもらう。
- ② 実際の選挙の際に、自分が何を基準に投票先を選択するのかを現実在即して体験してもらう。

2

〇〇〇選挙管理委員会事務局の窓口と申します。
これより概ね20分程度お付き合いただきます。

授業の冒頭で講師から説明のあったとおり、体験授業の目的は2つあり、この20分間では「選挙や政治に関心を持ってもらう」ことに主眼を置き説明していきます。

本日のメニュー

- ① 投票率の推移と年齢別投票率の状況
- ② なぜ若者が投票に行くべきなのか？
- ③ 選挙制度の仕組み

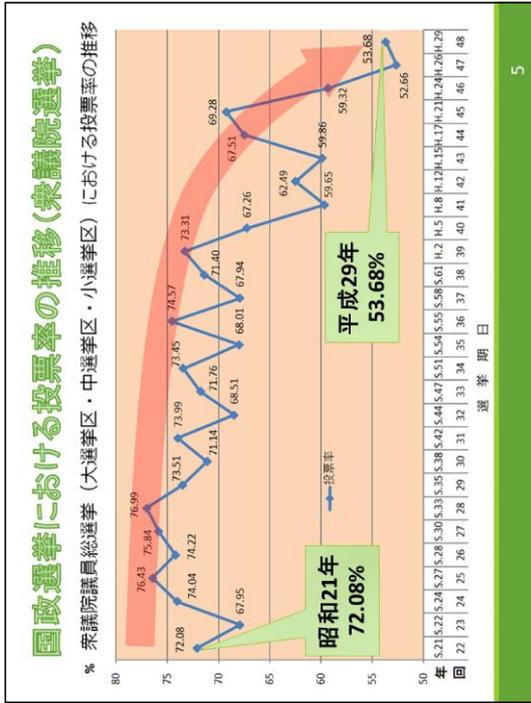
3

① 投票率の推移と年齢別投票率の状況

4

進め方は、まず投票率の推移と年齢別投票率を押さえてもらった上、なぜ若者が投票に行くべきなのかを皆さんに問題提起させていただき、最後に授業でも学ばれていると思いますが、簡単に選挙制度の仕組みを学んでいきます。

最初に、投票率の推移と年齢別投票率の状況について説明します。



衆議院議員総選挙を例に出すと、左側の昭和21年に比べて段々右肩下がりで投票率が低下しており、平成29年には53.68%と、2人に1人しか投票に行っていない状況です。

平成29年に行われた衆議院議員総選挙の年齢別投票率ですが、20歳代で33.85%、つまり3人に1人しか投票していないという実情にあります。

②

なぜ若者が投票に行きべきなのか？

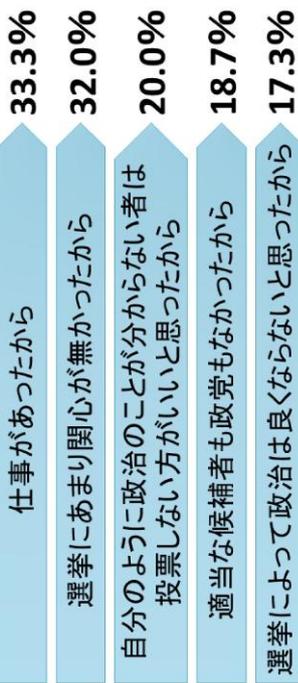
7

二つ目は、皆さんにお伝えしたい主題「なぜ若者が投票に行きべきなのか？」ということについてです。

なぜ投票に行かなかったの？

18歳～20歳代が投票を棄権した理由

※ 重複回答あり



選挙権年齢の引き下げに関する調査結果（18歳～20歳代）

8

まず、どうして若者が投票に行かないのかということ、チャートにある理由をみると「仕事」や「関心がない」とする理由が上位にあります。一方「自分のように政治のことが分からない者は、投票しない方がいいと思った」という不安の声をあげる人も多いです。そのような声を踏まえただ上で、二つの答えを提起したいと思います。

投票に行く意義①

国民主権と議会制民主主義

- 選挙権は、与えられた権利だから、行使すべき
- 自らの代表者を選ぶプロセス(選挙)に関わるべき

日本で国民は、主権者です！

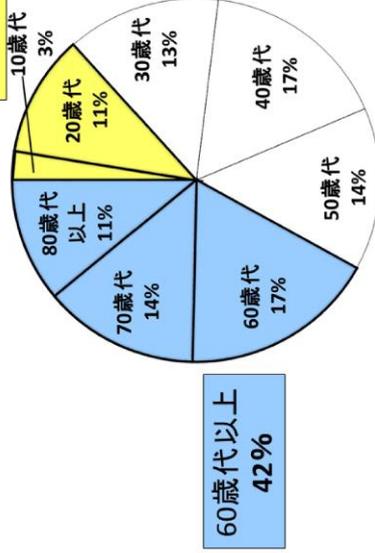


9

一つ目は第一義的には選挙権があなたに与えられた権利なのだから、それらを行使するべきだということ。国民主権の我が国でいわば自分たちのことは自分たち国民が決める、自らの代表者を選ぶ、選挙というプロセスに関わるべきだということです。

若者の投票の現状は

有権者の年齢別割合

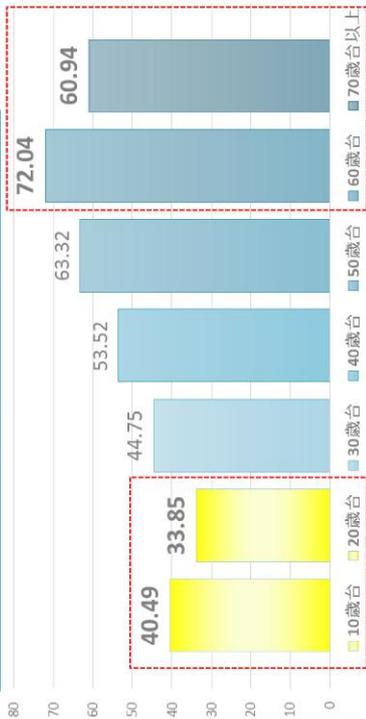


10

それでは若者の投票の現状を考えていきましょう。このグラフは、年齢別の有権者の割合を示しています。水色の部分、60歳以上の有権者が約40%を占め、黄色の部分、20歳以下の有権者は20%以下です。

若者の投票の現状は

年代別投票率（第48回衆議選）



11

若者の投票の現状は

投票の際に重視するテーマ（第48回衆議選）

	18-20歳代 (%)	50-60歳代 (%)	70歳以上 (%)
1 景気対策	42.5	医療・介護	56.1
2 子育て・教育	40.2	年金	52.9
3 医療・介護	26.0	景気対策	47.5
4 消費税	25.6	消費税	31.7
5 雇用対策	24.7	子育て・教育	30.7
		外交・防衛	23.1
		景気対策	42.5
		年金	63.4
		消費税	35.8
		景気対策	73.4



世代で重視するテーマが大きく異なっているね！

12

次に、年代別投票率を見ると、高齢者ほど高く、若年者ほど低い傾向にあります。

次に、これは、年代別に見た投票の際に重視するテーマを表にしたものです。18歳から20歳代までが景気対策や子育てといったテーマに関心があるのに対し、50歳代以上では、医療、介護や年金といったテーマに関心があり、世代で重視するテーマが大きく異なっています。

考えてみよう!

有権者数

- 60歳代以上 > 20歳代以下

投票率

- 60歳代以上 > 20歳代以下

重視するテーマ

- 60歳代以上と20歳代以下で違う!

Q あなたなら、当選するためにどんな作戦を立てますか？

有権者数は60歳代以上の方が多く、投票率も60歳代以上の方が高いことが見て取れました。このような状況で60歳代以上と20歳代以下とで求める政策に違いがあることも分かりました。さて、ここで皆さんに質問です。もし、あなたが候補者だとしたら、このような状況下において、当選するためにどんな作戦を立てますか？

＝Thinking Time＝ [反応を見て言葉を補足]
候補者の立場にすれば、当選するためには高齢者を重視する政策を訴える必要が出てきますよね。

投票に行く意義②

シルバニア民主主義からの脱却

- もっと若者の存在をアピールすべき

だから投票に行くことに意味があるんだよ!

ここで、投票に行く意義の二つ目です。若者が選挙に参加しない現状においては、公正な選挙の結果として、高齢者の声が強く反映されている「シルバニア民主主義」が生じているとの指摘もあります。自分たちが求める政策も取り入れられた社会を実現するためには、投票という行為を通じてしっかりと訴えていく必要があると思います。若者の存在をアピールするという点で若者の投票参加に意味があるということをお伝えします。

③選挙制度の仕組み

15

3点目の「選挙制度の仕組み」を簡単に学習していきましょう。

「選挙」の種類

毎年のように選挙が行われている。

R1(H31)	R2	R3	R4	R5
<ul style="list-style-type: none"> 参議院議員通常選挙 統一地方選挙 		<ul style="list-style-type: none"> 衆議院議員総選挙 衆議院議員補欠選挙 	<ul style="list-style-type: none"> 参議院議員通常選挙 	<ul style="list-style-type: none"> 統一地方選挙

16

スライドは、平成31年、つまり令和元年から令和3年までに行われた選挙と来年、再来年に予定されている選挙を表示しています。「選挙」といっても、いくつもの種類があり、令和2年のように選挙が行われない年もあれば、令和元年や令和3年のように1年に2回選挙が行われる年もあり、結果的に毎年のように選挙が行われています。札幌市の場合、同じタイミングで北海道知事、道議会議員、札幌市長、市議会議員を選ぶ4つの選挙があり、「統一地方選挙」と呼ばれています。

選挙人名簿①

投票するためには、**選挙人名簿**に登録されなければならない。

登録要件

- ① **満18歳以上**であること。
- ② 同じ市町村の**住民基本台帳**に引き続き3ヶ月以上記録されていること。

17

次に、選挙権を持つ人が誰であるのかを管理するのが「選挙人名簿」と言われるもので、住民基本台帳に基づいて作成されます。これから進学などで一旦親元を離れたとしても、住民票が札幌にある場合は、札幌市の有権者として登録されることとなります。

選挙人名簿②

進学や就職で転出（引越し）する場合

○ 転入地の選挙人名簿に登録されるためには…

住民票の異動が必要!!

忘れずに住民票を移しましょう。

※ 進学しても住民票を札幌に残しておく人も…。

不在者投票が利用できません！

(ただし、投票するのは札幌で行われる選挙です。)

18

進学や就職で市外に引越す際は、忘れずに住民票の異動届出をしましょう。ただ、進学しても住民票を札幌に残しておくケースが実態として多くあり、その場合後で触れますが、不在者投票によって投票できませんので覚えておいてください。

投票って意外と簡単!!



19

次に実際の投票方法です。
札幌市の場合、選挙が近くなると選挙人名簿に登録されている人にハガキが送付されますので、それをもって投票所に行きます。受付に有権者であることを確認したのち、渡された投票用紙に記入の上投票箱に投函するという流れです。その際に「投票したい人がいない」などの理由でその意思表示として白紙のまま投票する人もいますが、その場合は「無効投票」として扱われます。

期日前投票について

公 示 日

期日前投票

投票日

- ・授業、仕事
- ・旅行、レジャーなど

予定があっても大丈夫！

ただし、期日前投票を行う日に18歳以上であること。

20

次に投票日当日に投票する以外の投票方法です。
まず投票日に学校や仕事、レジャーなどで投票所へ行けない場合、選挙がスタートする公示日の翌日から投票日の前日まで、区民センターなど各区に2箇所ある期日前投票所で投票ができます。なお、「期日前投票」を行う日に18歳以上である必要があります。18歳に達していない人はどのような取り扱いになるのかは、次のスライドで触れます。



投票日に投票所へ行けない人のために、「期日前投票」とは別に、「不在者投票」という制度もあります。

例えば、東京の大学に進学して東京都に滞在していたり、就職して出張のために九州に滞在していたりして、投票日に投票所へ行けないし、期日前投票をすることもできないという人は不在者投票ができます。

また、投票日に用事があったりして投票所に行けない人で、期日前投票をしようと思った日はまだ17歳、という人も不在者投票をすることになります。

実際に投票に行く際に、誰に投票すればよいか決める際の情報収集について紹介します。

投票日が近くなると、各家庭に選挙公報が届けられます。また、選挙の時期になると街角にポスター掲示場が立ち候補者のポスターが貼られますし、街中で街頭演説なども行われます。その他にも数多くあり、積極的に情報を集めることができます。一方で、集めた情報を見極める力も必要となります。

また、政策に対する政党と有権者との一致度を測るツールとして、新聞などがインターネット上に開設する「ポータルタッチ」を活用するのも一つの手です。

選挙運動

選挙運動は候補者以外の人でもできる。

18歳になると、皆さんでも選挙運動ができます。それは…、友人や知人に「〇〇さんに投票してね」と呼び掛けること。

23

選挙運動について触れておきます。選挙運動は候補者や政党だけがするものではありません。それ以外の人でも、18歳になれば皆さんでも、できる選挙運動があります。友人・知人に「〇〇さんに投票してね」と呼び掛けるなどすることも立派な選挙運動です。

選挙違反となる行為

選挙運動には一定のルールがある。

- 18歳未満の者は選挙運動できない。
- 選挙運動ができる期間は、立候補が受付されたときから、投票日の前日まで



24

ただし、選挙運動するには一定のルールが設けられています。例えば、18歳未満の者の選挙運動は、法律で禁止されていますし、選挙運動ができる期間も立候補が受付されたときから、投票日の前日までと決められています。

有権者がインターネットでできる選挙運動

Facebook・Twitter・Instagram・LINEなど「SNS」で特定候補者への投票を呼び掛けること

25

有権者がTwitterやLINEなどSNSを使って投票を呼び掛けることはOKです。

やってはいけない選挙運動

特定候補者のHPやメールをプリントアウトして配布すること

有権者が「電子メール」を使用して特定候補者への投票を呼びかけること

26

ただし、インターネットメールやショートメールを使うことはNGなので、注意してくださいね。

WHY VOTE? ワタシが選挙に行く理由
20代で活躍するさまざまな職業の人に、選挙に行く理由を聞いてみました。

WHY VOTE?
02

金子 ルビナ (22) / 会社員
美容関係の会社に勤めて毎日、アメリカから日本のヘア。

Q. 選挙に行き始めたのはなぜですか？
父が政治に関心があり、誘われて行きました。面白いものだと思っただけねと、意味も無いので、政治に対してもしすつ興味を持ち始めました。

Q. どんな世の中になってほしいですか？
子どもが生まれても仕事を続けたいです。だんだん整備されてきているけど、女性だからといって不利にならない世の中になってほしい。

Q. 新しい有権者に伝えたいことは？
私も選挙に行ってから政治をニュースでチェックするようになったので、政治に対して無知でもまずは選挙に行くべきだと思います。

とりあえず
選挙に行こう!!

(小野) 著「新しい選挙権年齢をどう活かすか」から

28

二人目の女性は父に誘われて行き「難しいものだと思ったけど、意外と簡単」、「政治に対して無知でもまずは選挙に行くべき」と話しています。

WHY VOTE? ワタシが選挙に行く理由
20代で活躍するさまざまな職業の人に、選挙に行く理由を聞いてみました。

WHY VOTE?
01

坂井 友秋 (28) / カフェ店長、俳優
イベントも行うカフェオーナー。俳優としても活動中。

Q. 選挙に行き始めたのはなぜですか？
周りの友だちが行っているので行き始めました。最初は義務でなんとなく行っていたけれど、次第に自分から意思をもって選挙に行けるように。

Q. どんな世の中になってほしいですか？
地域の人たちとの交流は大切だと思います。自分と同じような若い世代が集えるイベントや場所が増えやすい世の中になれば嬉しい。

Q. 新しい有権者に伝えたいことは？
義務感からでもいいから選挙に一回行くことが大事。まずは経験して、選挙に行くことに意味があるのか、ないのかを自分で判断するべきです。

前向きに！
まずは行動

(小野) 著「新しい選挙権年齢をどう活かすか」から

27

最後に、若い世代の声を御紹介します。
一人目の男性は「最初は、義務で何となく、次第に自らの意思で投票に行くようになった。」、「最初は、義務感でもいいから選挙に行くことが大事」と話しています。

**若者を含め、
全ての人々が暮らしやすい
国や地域、社会をつくるために…**

29

この講義のまとめとなりますが、若者を含め、全ての人々が暮らしやすい国や地域、社会をつくるためには若者の皆さんの投票参加が欠かせない、そのことを皆さんに思えてもらえたらうれしいです。

設問4 自分が投票先を選ぶに当たって、どのようなことが大切だと感じたか

分類	件数	例
情報収集の必要性やそれを比較しながら主体的に選択していくことの重要性など、投票先を選ぶ際のプロセスや心構えなどに関する意見	件	○ ○ ○ ○
自分が何を重視して投票先を選んだのか、その選択基準を述べた意見	件	○ ○
その他	件	○

設問5 過去の実際の選挙結果と校内の開票結果とを比較して、自分の思うことを記入

分類	件数	例
双方の違いを指摘したもの	件	○ ○
その違いが生じる理由を述べているもの	件	○ ○
その違いを踏まえた、選挙への向き合い方を述べたもの	件	○ ○
その他	件	○

設問6 18歳になったら投票に行きますか(授業終了時)

選択肢	人数	割合	選んだ理由(例)
行く	人	%	○ ○ ○
どちらかと言えば行く	人	%	○
どちらかと言えば行かない	人	%	○
行かない	人	%	○
わからない	人	%	○

【再掲 18歳になったら投票に行きますか(授業開始時と授業終了時との比較)】